

平成 29 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 SANKYO
 代 表 者 名 代表取締役 簡 井 公 久
 社 長
 (コード番号 6417 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 常務執行役員 大 島 洋 子
 管 理 本 部 長
 (TEL. 03-5778-7777)

持分法による投資損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期決算において、下記のとおり持分法による投資損失を計上するとともに、平成 28 年 11 月 8 日に公表した平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 持分法による投資損失の計上について

持分法適用関連会社であるフィールズ株式会社が平成 29 年 3 月期個別決算において、135 億円の当期純損失を計上することとなりました。これにより当社連結決算において、持分法による投資損失 22.1 億円を計上いたします。

2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	90,000	3,000	4,000	2,500	30.86
今回修正予想 (B)	81,400	5,000	3,800	1,700	20.98
増減額 (B - A)	△8,600	2,000	△200	△800	—
増減率 (%)	△9.6	66.7	△5.0	△32.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	137,130	18,826	19,965	10,485	126.78

[業績予想修正の理由]

パチンコ・パチスロの販売が低調に推移し、売上高は前回発表予想を下回る一方で、販売単価の上昇や原価低減による売上総利益率の改善および研究開発費・広告宣伝費の減少などにより、営業利益は前回予想を上回る見込みであります。持分法による投資損失 22.1 億円の計上により経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は上記数値となる見込みであります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上